

保育室における子どもとのかかわり

平成17年度担任児童とのかかわりについて

札幌太田病院 どんぐり保育室

梅田和代¹⁾、葛西裕子¹⁾、宮坂明希¹⁾、木村亜紀子¹⁾、山崎明美¹⁾

1) 保育士

1. はじめに¹⁾

保育室における子どもとのかかわり方によって、その保育室及び保育士の保育の姿勢がみえてくるものである。当保育室は事業所内保育室である点、公平であること・知り得たこと（子どもに関しても）は保育室外に洩らさないということは当然のことであるが、厳重に守らなければならないことである。それをふまえたうえで、一人ひとりがどのように子どもと接してきたかを、17年度担当したクラスについて、夫々のかかわり様を報告する。

2. [すみれ組] 0～1才児²⁾³⁾

0才児は2点の年間目標を掲げた。

- 1、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求の充足をする。
- 2、保育者との親愛関係を深め、健康で安心した生活を過ごす。

0才児は月齢差と共に個人差が著しい為、毎月それぞれに合った食事・運動・睡眠などの計画を立て、それを目安に保育にあたった。

しかし、子どもの体調が悪かったり、1日のリズムが少しずつ違ったりと、その時の対応に精一杯で計画通りに進めることができなかった。そのほか、「にぎる」、「つまむ」等の手の動きができるオモチャを使い、楽しみながらの発達を促すようにした。

残念なのは、手づくりのオモチャを与えたいと思ったが余裕がなかった。

1才児は年度途中からの担任だったが、

- * 自分でしようとする気持ちを育てながら生活習慣を身につけていく
- * 運動機能の発達と言葉の習得を助けていく
- * 友達への関心を育てる

という年間目標に基づき、指導していただきながら保育に当たった。

いろいろな面で急激な発達をみせ、また、自分でしようとする意欲にあふれ、元気に遊びを楽しんでいる1才児。しかし、他児との争いも多い時期であり、子ども達の気持ちを受け入れ、やさしい言葉かけや援助をすると共に、安全な保育を心がけた。

3. [ちゅうりっぷ組] 2才児⁴⁾

いろいろな面で、人間としての基礎をつくる大切な時期である。年間目標は、

- * 基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄・着脱）が身につく、自分でしようとする。
- * 一人ひとりの個性を育てよう

日々の保育で一人ひとりの発達段階を把握し、その子に合った援助や自分でやろうとする意欲が持てるような言葉かけをした。また、子ども達の個性を伸ばせるような環境づくりも心がけた。遊びを通しての「貸して」、「入れて」、「順番」など、言葉で自分の気持ちを伝えられるようになり、友達とのトラブルも少なくなってきた。友達とのかかわりを求め、ごっこあそび（遠足ごっこ、ウルトラマンご

っこ)を楽しむ姿も見られ、友達関係も広がっていった。好奇心旺盛で、生活に必要な習慣が身につく、「自分でしよう」とする意欲も育ち、成長が感じられた。

4.〔ひまわり組〕 3～5才児

日常生活や遊びの体験が、子どもの感性や創造力を育むので、様々な体験を通して一人ひとりが自信をもち、特に卒園児はその気持ちを持って就学を迎えられるように取り組んできた。様々な発見や驚きなどから、想像したり、考えたりする力を育てたいと思い、自然に触れる外遊び・散歩などを積極的に取り入れてきた。また、当保育室では、日ごろ出来ない同年齢児との交流で知る楽しさや規律などを経験する為、他園との活動提携がなされている。しかし、子ども達との日程がなかなか合わず、当初の計画をこなすことができなかったのは残念だった。

年度初めに1人ひとり目標を決め、この1年の間にやり遂げることが出来るよう促し、やり遂げた満足感や達成感を味わえるようにした。何度もくじけそうになりながらもそれぞれが目標を達成することが出来たことは良かったと思う

5. おわりに

毎年4月にクラス編成をし、担任を決める。それによって、保育士一人ひとりが年間目標をたて、子どもとどうかかわっていくかを考えるのである。0～1才児は特定の保育士(特に担任)になつき、愛されることにより心の安定と成長がはかれるのである。

朝と午後の自由遊びの時間は、保育士全員が全園児と向き合っている保育となるため、自分や相手を傷つけるような行動・場所・物などの危険防止事項と対処の統一を心がけている。保育士の態度によっては「格好の逃げ場」となることもありうるし、それを〔慕われて

いる〕と思い込むとお互いの子どもへのかかわりにも影響してくるのである。

はじめに述べたとおり、当保育室は事業所内の施設であり、今後も公平を基に安全・安心の保育を心がけていく所存である。

文 献

- 1) 日本保育協会編：保育所保育指針の解説，日本保育協会，東京，1999
- 2) 鈴木とく，中村セツ子，野村 律編：0才児の指導計画，チャイルド社，東京都，1996
- 3) 鈴木とく，中村セツ子，野村 律編：1才児の指導計画，チャイルド社，東京都，1996
- 4) 鈴木とく，中村セツ子，野村 律編：2才児の指導計画，チャイルド社，東京都，1996